

岡病防第 16 号  
平成22年 9 月30日

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第7号を下記のとおり発表したの送付します。

平成22年度病虫害発生予報第7号

平成22年 9 月30日  
岡 山 県

予報概評

作物名	病虫害名	発生量
水稲	トビイロウンカ	やや多
ダイズ	ハスモンヨトウ	やや多
果樹	カメムシ類	やや多
キュウリ	褐斑病	やや多
キュウリ・ナス	ミナミキイロアザミウマ	並
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病 ハクサイべと病 軟腐病 黒腐病 コナガ ヨトウガ アブラムシ類 モザイク病 ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ オオタバコガ	並 やや多 やや多 やや多 並 やや少 並 やや多 やや多 並 やや多
キク	ナミハダニ オオタバコガ	やや少 やや多

## 1. 普通作物

### (水稲)

#### 1) トビイロウンカ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市の予察灯における9月1～5半旬の飛来数は133頭で平成(20.9頭)より多かった。

イ. 9月21～22日の巡回調査によると、南部地帯における発生圃場率は47.2%で平成(13.9%)より高く、株当たり虫数は1.7頭で平成(1.3頭)よりやや多かった。中部地帯の発生圃場率は50.0%で平成(24.1%)より高く、株当たり虫数は1.5頭で平成(6.5頭)より少なかった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平成より高いとされており、発生を助長する条件である。

防除上の参考事項

ア. 本虫は圃場内で局在し、株元に生息しているため、圃場の端から中央部までできるだけ多くの株元を観察して発生状況を把握する。

### (ダイズ)

#### 1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおける9月1～5半旬の誘殺数は2,569頭で平成(2,081頭)よりやや多かった。

イ. 9月2～3日の巡回調査における白化葉(被害葉)の発生圃場率は38.0%であり、平成(33.7%)並であった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平成より高いが、降水量は平成より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

## 2. 果樹(全般)

#### 1) カメムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市の予察灯における9月1～5半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシは205頭で平成(117.1頭)より多く、クサギカメムシは1頭で平成(2.8頭)より少なく、ツヤアオカメムシは130頭で平成(67.1頭)より多かった。

## 3. 野菜

### (キュウリ)

#### 1) 褐斑病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 9月27～28日の巡回調査によると、発生圃場率は100%で、過去9年間の平均値88.1%(うち6年間は100%)と同程度であった。

イ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病をやや助長する条件である。

(キュウリ、ナス)

1) ミナミキイロアザミウマ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 9月27～28日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。

イ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

(アブラナ科野菜)

1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 9月28日の県予察圃場の調査では、平年どおり発生を認めなかった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、発生圃場率は10.7%で平年(18.2%)よりやや低かった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

防除上の参考事項

ア. 秋作では生育中期から結球期に初発生するので、初期防除を徹底する。

2) ハクサイべと病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 9月28日の県予察圃場の調査では、平年どおり発生を認めなかった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、発生圃場率は3.6%で平年(8.2%)並であった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

3) 軟腐病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 9月28日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年どおり発生を認めなかった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、ハクサイでは発生圃場率が0%で平年(6.5%、10年間のうち6年間は0%)並、ダイコンでは発生圃場率が23.1%で平年(25.6%)並であった。

ウ. 軟腐病菌は、ピシウム属菌による腐敗性病害の罹病株に二次的に寄生して被害を助長する場合がある。ハクサイピシウム腐敗病は、降水量が多いと発病が助長される。

エ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

4) 黒腐病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 9月28日の県予察圃場（ハクサイ）の調査では、平年どおり発生を認めなかった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、キャベツでは発生圃場率が9%で平年（0%）よりやや高く、ハクサイでは発生圃場率0%で平年（0%）並であった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病をやや助長する条件である。

5) コナガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおける9月1～5半旬の誘殺数は1頭で、平年（2.1頭）並であった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると発生量は平年並であった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

6) ヨトウガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 9月27～28日の巡回調査によると、発生量は平年よりやや少なかった。

イ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

7) アブラムシ類とアブラムシ伝搬性モザイク病

予報内容

発生量           アブラムシ類           並  
                  モザイク病           やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市の黄色水盤における9月1～5半旬の飛来数は389頭で平年（384.8頭）並であった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、アブラムシ類の発生量は平年よりやや少なく、モザイク病の発生量は平年よりやや多かった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

8) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおける9月1～5半旬の誘殺数は2,569頭で平年（2,081頭）よりやや多かった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

9) ハイマダラノメイガ

予報内容 並

予報の根拠

ア. 9月27～28日の巡回調査によると発生量は平年よりやや少なかったが、8月下旬～9月上旬定植の一部圃場で多発していた痕跡が認められた。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

10) オオタバコガ

予報内容 やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおける9月1～5半旬の誘殺数は6頭で、平年(2頭)よりやや多かった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、発生量は平年よりやや多かった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

4. キク

1) ナミハダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 9月27～28日の巡回調査によると、発生量は平年より少なかった。

イ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

2) オオタバコガ

予報内容 やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおける9月1～5半旬の誘殺数は6頭で、平年(2頭)よりやや多かった。

イ. 9月27～28日の巡回調査によると、発生量は平年よりやや多かった。

ウ. 9月24日発表の季節予報によると、10月の気温は平年より高いが、降水量は平年より多いとされており、とくに発生を助長する条件ではない。

この情報は、岡山県病虫害防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239)

病虫害発生予察情報テレホンサービス

岡山県病虫害防除所では、主要病虫害の発生状況や防除に関する情報を迅速にお知らせするために、テレホンサービスを実施しております。気軽にご利用ください。

電話：086-955-2224